

# 香港株式市場フラッシュ

## 中国株はトンネルを抜けたか？～国有企業系高配当利回り銘柄動向

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: [kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp](mailto:kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp)

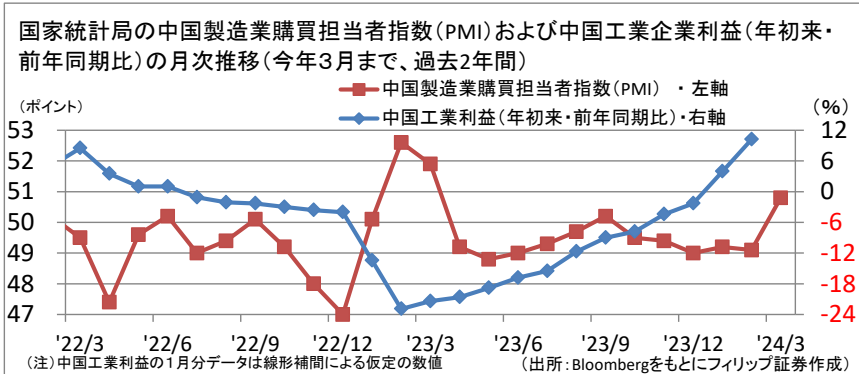
フィリップ証券株式会社

2024年4月3日号(4月3日作成)

### “中国経済は長いトンネルを抜けたのか？”

日本人で初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成が現在、中国でブームだそう。特に人気を集めている「雪国」の書き出しのように、中国経済も不動産不況に伴う長いトンネルを抜けたのだろうか？

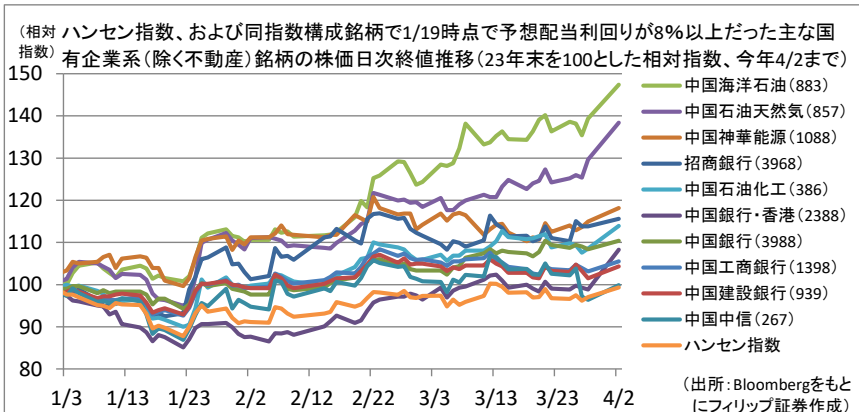
中国国家統計局が3/27に発表した1-2月の工業部門企業利益は前年同期比10.2%増加と、22年6月以来のプラス転換かつ21年12月以来の高い伸びとなった。1-2月の鉱工業生産も前年同期比7.0%増加と、伸び率が昨年12月の6.8%から加速。経済が昨年の底入れを経て回復を遂げつつあることを示すシグナルのようにも見受けられる。更に、国家統計局が3/31発表の3月の製造業購買担当者指数(PMI)も50.8と、活動拡大・縮小の境目の50を超えて1年ぶりの高水準を記録した。1-2月は輸出(ドルベース)も前年同期比7.1%増と伸びており、財政支出の増加と相まって見通しに光明が差してきていると言えるだろう。



### “国有企業系の高配当利回り銘柄は好機が続くのか？”

当レポート2024年1月24日号「市場低迷は国有企業系の高配当利回り投資の好機」でハンセン指数構成銘柄の中の主な高配当利回りの国有企業系銘柄(不動産関連業種を除く)を取り上げた。4/3現在、1/22時点の市場予想配当利回り11%台だった①中国石油化工[シパック](386 香港)は7.97%へ低下。同9%台だった銘柄の内、②中国石油天然気[ペトロチャイナ](857 香港)が6.64%、③中国海洋石油[CNOOC](883 香港)が6.57%、④中国建設銀行[チャイ・コンストラクション・バンク](939 香港)が8.92%、⑤中国工商銀行(1398 香港)が8.22%、⑥中国神華能源[チャイ・シェンファ・エナジー](1088 香港)が7.74%、⑦中国中信[シティック](267 香港)が6.80%へ低下。同8%台だった銘柄の内、⑧中国銀行(香港)[BOC ホンコン](2388 香港)が7.38%、⑨中国銀行[バンク・オブ・チャイナ](3988 香港)が7.77%、⑩招商銀行(3968 香港)が6.77%となった。

特に、エネルギー関連企業は株価の堅調な推移により予想配当利回り低下幅が大きい。昨年末起点の相対指数で騰落率がいずれもハンセン指数を上回るも、銀行株は緩やかな上昇にとどまり、引き続き高配当利回り銘柄として好機が続こう。



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20240319 基準日: 20240402

順位	2023年末騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	中国海洋石油 [CNOOC]	47.4	2
2	Tongcheng Travel Holdings [同程旅行控股]	45.8	3
3	中国宏橋集団[チャイ・ホンチャオ・グループ]	40.1	11
4	信義光能[シンイー・ソーラー]	38.6	1
5	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	38.4	4
6	携程旅行網[トリップドットコムグループ]	35.8	5
7	紫金鉱業集団[スー・ジン・マイニング・グループ]	27.5	6
8	Haidilao International Holdi (海底撈)	24.2	7
9	Meituan (美团)	23.8	17
10	中国神華能源 [チャイ・シェンファ・エナジー]	18.1	13

順位	2023年末騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	薬明生物技術[ウーシー・バイオリジクス・ケイマン]	-52.0	96
95	蔚来汽車[ニオ]	-50.5	95
94	小鹏汽車	-46.6	93
93	舜宇光学科技(集团)[サニー・オプティカル・テクノロジー]	-43.1	88
92	SenseTime Group Inc (商湯集团)	-37.1	91
91	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-28.3	94
90	JD Health International Inc (京東健康)	-27.6	78
89	新世界發展 [ニューワールド・デベロップメント]	-27.3	89
88	阿里健康信息技術[アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	-26.0	84
87	CG SERVICES (碧桂園服務)	-25.2	82

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2024年4月: 中国主要経済指標】

- 3月20日(水)
    - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.45%、結果3.45%
    - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.95%、結果3.95%
  - 3月27日(水)
    - ・1-2月工業利益<前年同月比>: 前回(1-12月)▲2.3%、結果+10.2%
  - 3月31日(日)
    - ・3月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.1、結果50.8
    - ・3月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.4、結果53.0
  - 4月1日(月)
    - ・3月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.9、結果51.1
  - 4月3日(水)
    - ・3月(財新)サービス部門PMI: 前回52.5、結果52.7
  - 4月7日(日)
    - ・3月外貨準備高: 前回3.22兆USD
  - 4月11日(木)
    - ・3月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.7%
    - ・3月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲2.7%
  - 4月12日(金)
    - ・1-3月貿易収支: 前回(12月)+1251億USD
    - ・1-3月輸出<前年同月比>: 前回+7.1%
    - ・1-3月輸入<前年同月比>: 前回+3.5%
  - 4月9日(火)～15日(金)
    - ・3月資金調達総額: 前回8.06兆元
    - ・3月新規人民元建て融資: 前回6.37兆元
    - ・3月マネーサプライM2<前年同月比>+8.7%
  - 4月16日(金)
    - ・1Q(1-3月)GDP<前年同月比>: 前回+5.2%
    - ・3月小売売上高<前年同月比>: 前回+5.5%
    - ・3月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+7.0%
    - ・1-3月不動産投資<前年同月比>: 前回▲9.0%
    - ・1-3月固定資産投資<前年同月比>: 前回+4.2%
    - ・3月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.36%
    - ・1-3月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲24.8%
    - ・3月調査失業率<前年同月比>: 前回5.3%
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。